

道立近代美術館 10月事業のご案内

▼特別展「カラヴァッジョ展」【有料】

期 間：8月10日（土）～10月14日（月・祝）

場 所：道立近代美術館 展示室B

内 容：本展では、イタリア国内の所蔵作品を中心に、日本初公開の《病めるバックス》など約10点のカラヴァッジョ作品（帰属作品含む）に同時代の画家たちを加え約40点の傑作・秀作を北海道で初めて展示します。激情と苦難に彩られながら、新時代の潮流を導いたカラヴァッジョ芸術の輝きをご覧ください。

観覧料：一般1,600円、高大生800円、中学生600円

※この料金以外に、団体料金や近美コレクションとの同時観覧料金等があります。詳細はお問い合わせください。

（お知らせ）

本展の展示作品の一部について到着が遅れており、既に到着している作品を展示して開催中ですが、一部作品を欠く形となっております。これらの作品が展示できない期間に来場した方には、再入場できるよう、入場券にスタンプを押す対応をしております。

▼特別展「北海道書道展第60回記念展 北のかがやき2019」【有料】

期 間：前期 10月30日（水）～11月4日（月・祝）

後期 11月5日（火）～11月10日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室B

内 容：書は人なり。古典の研究を深めながら、個の表現を探求してきた北海道の書家たち。伝統書から現代書まで、漢字、かな、篆刻、刻字、近代詩文、墨象、前衛の各分野で活躍する北海道書道展の招待作家、招待会員、会員の約250作品を通して、書の魅力「かがやき」を紹介します。

観覧料：800円

※高校生以下及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※この料金以外に、団体料金、前後期通し券などがあります。詳細はお問い合わせください。

その他：11月4日（月・祝）、10日（日）は16：00終了

▼近美コレクション【有料】

期 間：8月10日（土）～11月10日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室A

展覧会名

○「バック・トゥ・ザ・フューチャー 来るべき20年代に向けて」

内 容：さまざまな芸術が開花した1920年代。つぎの20年代を目前にした今年、アール・デコやエコール・ド・パリなど当館のすぐれたコレクション

によって、この時代の前衛性や独創性を探ります。

○「新収蔵品展」

内 容：平成30年度の新収蔵品を紹介します。

○「ふれるかたち」

内 容：彫刻や立体作品に手でふれ、かたちや質感を感じることを通して美術作品を鑑賞する展覧会です。

○「この1点を見てほしい。」

内 容：5,000点以上の当館コレクションの中から1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。

日 程：8月10日（土）～9月26日（木）キスリング《オランダの娘》

9月27日（金）～11月10日（日）淡島雅吉《しづくガラス タンブラー》

観覧料：一般510円、高大生250円

※この料金以外に、団体料金や特別展との同時観覧料金等があります。詳細はお問い合わせください。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

▼ギャラリー・ツアー【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：ボランティアが近美コレクションを解説します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：火～土曜日 11：30～12：00（展示室A 1階）

13：00～13：30（展示室A 1階）

14：00～14：30（展示室A 1階）

※休館日、祝日を除く。

▼ミュージアム・トーク【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：学芸員が作品について講話します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：10月6日（日）、20日（日）14：00～（約40分）

▼子ども鑑賞ツアー【有料／近美コレクション観覧料】

日時等：10月12日（土）11：00～（約30分）

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

内 容：小学生以上を対象に、展示室で対話を楽しみながら作品を鑑賞します。

道立近代美術館の学芸員がご案内します。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（入場は16：30まで）

10月の休館日：7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（月）

【お問い合わせ】

北海道立近代美術館（〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目）

電話011-644-6882（総務企画部総務企画課）

ホームページ：<http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/dokinbi/>

mima 北海道立三岸好太郎美術館10月事業のご案内

▼特別展「三岸好太郎と幻想のイメージ—《蝶と貝殻》をめぐる四章—」【有料】

期 間：9月14日（土）～12月1日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室1-5

内 容：三岸の最晩年の《蝶と貝殻》のシリーズに焦点をあてながら、絵画を中心に詩作やデザインなど多岐にわたる生涯の作品を、“幻想”をキーワードに探ります。特にシュルレアリスムの日本での受容に注目し、その影響がみられる小川原脩らの作品、さらにシュルレアリスムの画家、サルヴァドール・ダリやルネ・マグリットの版画作品も紹介します。

観覧料：一般610円、高大生360円、小中生250円

※この料金以外に、団体料金等があります。

※障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

詳しくは、当館ホームページをご覧ください。

▼同時開催「アートギャラリー北海道 mima - no - me #みまのめ〈VOL. 5〉」【有料／特別展観覧料】

期 間：9月14日（土）～12月1日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室6, 7

内 容：三岸好太郎の進取の精神にちなみ、北海道ゆかりの若い芸術家を紹介するシリーズ企画「#みまのめ」の第5弾。絵画や工芸、写真など4人の作家を紹介します。本展は若い作家への活動の場の提供などで、北海道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道事業」として開催。

▼「#みまのめ 〈VOL. 5〉アーティスト・トーク」【有料／特別展観覧料】

日 時：10月5日（土） ①11:00～ ②14:00～

講 師：①片野莉乃（日本画家） ②福田亨（工芸作家）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室 6, 7

▼ミニ・リサイタル【有料／特別展観覧料】

日 時：10月12日（土） 14：00～15：30

場 所：北海道立三岸好太郎美術館 展示室（約80席）

演 奏：山本千尋（トランペット）、代田将也（トロンボーン）
北濱佑麻（ピアノ）

その他：観覧料のみでお聞きいただけます。

▼所蔵品展示解説【有料／所蔵品展観覧料】

日 時：毎日 13：00～15：00（日曜日、祝日及び午後のイベント開催日をのぞく）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室（三岸好太郎作品展示コーナー）

内 容：三岸好太郎作品の解説を行います。上記の時間帯に解説員が待機。

解 説：北海道美術館協力会解説部ボランティア

その他：観覧料のみでお聞きいただけます。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

10月の休館日：10月7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（月）

【お問い合わせ】

mima 北海道立三岸好太郎美術館（〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目）

電話 011-644-8901

テレホンサービス 011-621-7000

ホームページ <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/index.htm>

ツイッター https://twitter.com/Kotaro_Art

道立旭川美術館 10月事業のご案内

▼特別展「没後20年 岩橋英遠展」【有料】

期 間：9月14日（土）～11月10日（日）

場 所：道立旭川美術館 第1展示室

内 容：岩橋英遠（1903-1999）は、江部乙（現・滝川市）に屯田兵の2代目として生まれました。郷里で農作業に従事して過ごし、21歳で日本

画家を志して上京、山内多門、後に安田鞞彦に師事します。院展を中心に活躍し、1989（平成元）年に文化功労者となり、1994（平成6）年には文化勲章を受章するなど戦後の日本画壇に大きな足跡を残しました。

本展では、初期作品から、晩年の作品まで、北海道内に所蔵される代表作を一堂に紹介します。また、英遠の故郷である滝川市美術自然史館が収蔵するスケッチ帳から未公開を含むスケッチや習作を紹介し、画家の創造の軌跡をさぐります。

観覧料：一般1,000円、高大生600円、中学生以下無料

※この料金以外に、団体料金や常設展とのセット料金等があります。

▼常設展「自然の風景 日本画の世界」【有料】

期 間：9月14日（土）～11月10日（日）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室

内 容：旭川市出身で、日本美術院同人である日本画家福井爽人の作品を中心に、風景をはじめとした自然をモチーフとして描かれた日本画を紹介します。

観覧料：一般260円、高大生150円

※中学生以下及び65歳以上の方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や特別展とのセット料金等があります。

▼北海道教育大学旭川校連携ギャラリー・トーク【有料】

日 時：10月12日（土）14：00～

講 師：大石朋生氏（北海道教育大学旭川校准教授）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室（要観覧券）

▼ギャラリー・トーク【有料】

日 時：10月13日（日）14：00～

講 師：当館学芸員

場 所：道立旭川美術館 第1展示室（要観覧券）

▼美術講演会「岩橋英遠の画業－虹を見つめて」【無料】

日 時：10月19日（土）14：00～15：30

講 師：土岐美由紀氏（道立三岸好太郎美術館副館長）

場 所：道立旭川美術館 講堂（70席、聴講無料）

▼ミュージアム・コンサート「日本の調べ」【無料】

箏・尺八の演奏をお楽しみください。

日 時：10月26日（土）14：00～

場 所：道立旭川美術館 ロビー（無料）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

10月の休館日：7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（月）

【お問い合わせ】

北海道立旭川美術館（〒070-0044 旭川市常磐公園内）

電 話 0166-25-2577

ホームページ <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/abj/top.htm>

ツイッター https://twitter.com/Asahikawa_Art

道立函館美術館10月事業のご案内

▼特別展「タグチ・アート・コレクション 球体のパレット」【有料】

期 間：9月7日（土）～11月10日（日）

場 所：道立函館美術館 特別展示室

内 容：タグチ・アート・コレクションは、日本の実業家・田口弘氏が約30年をかけて収集してきた、現代美術のコレクションです。1990年ごろ、ブティックに飾られたキース・ヘリングの版画に魅せられたのをきっかけに、アメリカの現代美術作品の収集が始められました。コレクションの射程は、やがて世界各国の現代美術へと広がっていき、いまや、現代の美術の動向を地球規模で見渡すことのできる、優れたコレクションが形成されています。

本展は、タグチ・アート・コレクションをはじめて北海道で紹介するものです。膨大なコレクションのなかから、日本、アジア、アフリカ、中東、ヨーロッパ各国のすぐれた現代アーティストの作品、約60点を選びすぐって展示いたします。絵画、彫刻、写真、映像など、幅広い表現形式の作品がご覧いただけます。紙袋、糸、土、グリッター（ラメ）、剥製、ガラスなど、取り上げられる素材が多様であることはもとより、それらの素材に対する創造的なアプローチを通して、視覚と感情を強くゆさぶるような表現が生み出されます。そこには、アーティストが生まれた国の歴史や文化、あるいは現在根拠地としている場所や社会の状況などが、濃く淡く、にじんんでいます。

21世紀の前半という、「現在」に根ざして表現活動を行なっているアーティストたちの斬新な表現は、同時代を生きる私達のところに、深い共感をよびおこすことでしょう。

観覧料：一般900(700)円、高大生600(400)円、
小中生300(200)円

※()内は前売、リピーター割引、どうなんアートリンク、および10名以上の団体料金

▼ギャラリー・ツアー【有料】

道立函館美術館学芸員の解説とともに展覧会をめぐるります。

日時：10月19日(土)、26日(土) 午後2時～(約30分)

場所：道立函館美術館特別展示室

▼美術映画会【無料】

日時：10月12日(土) 各日午後2時～

内容：「ナショナルギャラリー、テート・ブリテン、コートールド美術館」

場所：函館美術館講堂

定員：80名(整理券配布)

▼松前高校書道部×木育 書道パフォーマンスとワークショップ【有料】

日時：10月5日(土) 午後1時～4時(予定)

内容：「金子鷗亭 川端文学燦文集」展(11月22日～2020年2月2日)のプレ・イベントです。地元の道南杉の盾に、墨で言葉をしたためる体験に挑戦します。

料金：一般1,400円 大学生1,000円 高校生890円 小中生690円
(観覧料+材料費+保険料)

講師：北海道立松前高校書道部

締切：9月26日(木)まで

対象：大人から子どもまで 20名(小学生以下要保護者同伴)

○お知らせ

開館時間：9:30～17:00(展示室への入場は16:30まで)

開期中休館日：、7日(月)、15日(火)、21日(月)、28日(月)

【お問い合わせ】

北海道立函館美術館(〒040-0001 函館市五稜郭町37-6)

電話0138-56-6311

E-mail hakobi.11@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj>

フェイスブック <https://www.facebook.com/hakobi.11/>

道立帯広美術館 10月事業のご案内

▼特別展「世界を魅了した浮世絵師 北斎展 師と弟子たち」【有料】

期 間：9月14日（土）～11月24日（日）

場 所：道立帯広美術館 主展示室

内 容：「富嶽三十六景」シリーズや『北斎漫画』をはじめ、役者絵、美人画、妖怪絵、洋風画など膨大な数の作品を遺した葛飾北斎（1760－1849）。多くの絵師たちに影響を与え、世界的な人気を誇る北斎芸術の神髄に迫ります。

観覧料：一般1,100円、高大生600円、中学生300円（土・日・祝日の中学生は無料・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」2019年度無料招待事業）、小学生以下無料。

この料金以外に、団体料金やコレクション・ギャラリーとの共通観覧料金、リピーター料金などがあります。

※高校の教育活動としての観覧及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼コレクション・ギャラリー「絵画は躍る?!」【有料】

期 間：9月14日（土）～11月24日（日）

場 所：道立帯広美術館 コレクション・ギャラリー

内 容：まるで今にも動き出しそうな躍動感やスピード感、作者の手の動きが残された筆致など、静止している絵画の中に表された様々な“動き”に注目して作品をご紹介します。

観覧料：一般260円、高大生150円

この料金以外に、団体料金や特別展との共通観覧料金があります。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※高校生は、毎週土曜日が無料となります。

▼アートギャラリー北海道 大樹町酪農アーティスト展【無料】

期 間：9月14日（土）～11月24日（日）

会 場：道立帯広美術館 ロビー

内 容：展覧会会期中、酪農アーティスト下山明花氏と佐川麻代氏の作品を紹介します。展覧会と合わせてお楽しみください。

▼キッズ・ミュージアム「やさしい版画」【無料】

日 時：10月5日（土）13:30～15:30（受付は15:00まで）

会 場：道立帯広美術館 講堂（託児無料）

内 容：託児室を開設します。お子様が工作を楽しんでいる間、展覧会をゆっくりとご鑑賞ください。

▼特別展セミナー「世界の絵師・北斎とその周辺」【無料】

日 時：10月12日（土）14：00～（約1時間）

場 所：道立帯広美術館 講堂（聴講無料）

講 師：道立帯広美術館学芸課長 福地大輔

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

10月の休館日：7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（月）

【お問い合わせ】

北海道立帯広美術館（〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地）

電 話 0155-22-6963

ホームページ <http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/obj/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/do.obimu>

道立北方民族博物館10月事業のご案内

▼常設展示【有料】

期 間：4月1日（日）～3月31日（日）

場 所：道立北方民族博物館 常設展示室

内 容：世界各国から集めた約900点の資料を、衣食住・生業等のテーマ別に展示し、
北方に暮らす人びとの文化を紹介しています。

観覧料：一般550円、高大生200円、小中生・65歳以上無料

※小中生、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼特別展 「北欧サミの暮らしと工芸」【有料】

期 間：7月13日（土）～10月14日（月・祝）

場 所：道立北方民族博物館 特別展示室

内 容：北欧に暮らす先住民サミの暮らしのなかに見られる工芸品の紹介と文化復興に
ついて紹介します。

観覧料：一般450円、65歳以上300円、高校・大学生200円、小・中学生
無料

▼第34回北方民族文化シンポジウム網走「環太平洋地域の伝統と文化④ アラスカ・
ユーコン地域」【無料】

日 時：10月5日（土）、6日（日）9：00～16：00

場 所：オホーツク・文化交流センター 大会議室

定 員：先着50名

内 容：北太平洋を取り囲む地域は、自然環境や生物資源だけでなく、文化的にも類似性や共通性が指摘されてきました。本シンポジウムでは、環北太平洋沿岸の地域ごとに先住民文化の特徴や変遷、現状を総合的・学際的に比較・検討します。今回は、対象地域としてアラスカ・ユーコン地域を取り上げます。

▼はくぶつかんクラブ 「フェルトでつくるシロクマのコインケース」【無料】

日 時：10月19日（土）10：00～12：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名

内 容：フェルトでシロクマ型のコインケースを作ります。

講 師：石原 生久代（当館解説員）

▼講習会 「お細工物 押し絵のおひなさま」【有料】

日 時：10月20日（日）13：00～17：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名

内 容：お細工物の技法を使っておひなさまを作ります。

講 師：浜田 智津子氏（お細工物作家）

参加料：3,200円（材料費、保険料）

▼ロビー展 「南隆雄 コレクション・サーベイ 北海道立北方民族博物館」【無料】

期 間：10月26日（土）～11月10日（日）

場 所：道立北方民族博物館 ロビー

内 容：アーティストの南隆雄氏が、北方民族博物館の所蔵資料を用いた映像作品を
実物資料と組み合わせて紹介します。

▼解説会 「アーティストトーク 南隆雄 コレクション・サーベイ：北海道立北方民族博物館」【無料】

日 時：10月27日（日）13：30～15：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着50名

内 容：ロビー展の概要を紹介し、それぞれの資料について解説します。

講 師：南 隆雄氏（アーティスト）

○お知らせ

開館時間：9：30～16：30

10月の休館日：7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（月）

【お問い合わせ】

北海道立北方民族博物館（〒093-0042 網走市字潮見309番地1）

電話0152-45-3888

ホームページ <http://hoppohm.org>

道立文学館10月事業のご案内

▼特別展「ノンフィクション作家・保阪正康の仕事～「昭和史」との対話」【有料】

日 時：8月31日（土）～11月7日（木）

場 所：道立文学館特別展示室

「昭和」とは、あの「戦争」とは何だったのか。「昭和」を生きた政治家、軍人などに取材を重ね、その証言や資料で実態を読み解き、『東條英機と天皇の時代』、『ナショナリズムの昭和』など多数の著書で日本の近現代史を検証し続ける札幌出身の保阪正康の仕事を紹介、次代に語り継ごうとしている歴史の教訓を考えます。

観覧料：一般700円、高大生及び65歳以上450円、小・中生300円

▼文芸講演会「歴史に学び伝える」【無料】

日 時：10月12日（月・祝）14：00～15：30

会 場：道立近代美術館講堂（札幌市中央区北1条西17丁目）

講 師：保阪正康氏（ノンフィクション作家）

定 員：200名（要申込）

申込方法：往復はがきに①イベント名②ご氏名③ご住所④電話番号を記載して9月21日（土）まで（当日消印有効）に北海道立文学館（〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号）に郵送してください。

※1枚のはがきで2名まで応募できます。（その際は2名分の氏名を記載）

※定員を超えた場合は抽選となります。

▼常設展「北海道の文学」【有料】

期 間：4月2日（火）～令和2年3月31日（日）

場 所：道立文学館常設展示室

内 容：明治以降150年の歴史の中で育まれてきた北海道の文学。小説、詩、短歌、俳句、川柳、またアイヌ民族の口承文芸、さらには児童文学や評論、随筆など、それぞれの分野に珠玉の作品が生まれました。その担い手としてパイオニア精

神を発揮した多くの文学者と、今なお読み継がれている多くの作品の光と影とが、常設展示室に漂っています。

観覧料：一般500円、高大生250円。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料

※高校生は土曜日は無料となります。

▼常設展アーカイヴ【有料／常設展観覧料】

○八木義徳と北海道

期 間：10月5日（土）～12月15日（日）

場 所：道立文学館常設展示室

内 容：没後20年。「摩周湖」などをとおして北海道の風土の表現を探ります。

▼北海道文学館公開歌会・句会【無料】

日 時：10月27日（日）14：00～

場 所：道立文学館講堂

内 容：短歌、俳句、川柳の作家による北海道をテーマとした競詠

定 員：80名（申込不要）

▼月例朗読会 「北の響～名作を声にのせて」【無料】

日 時：10月10日（木）13：30～

会 場：道立文学館講堂

朗 読：朗読

定 員：60名（申込不要）

▼～わくわく～こどもランド【無料】

日 時：10月6日（日）11：00～12：00

会 場：道立文学館講堂

内 容：絵本の読み聞かせ ほか

定 員：60名（当日先着）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

10月の休館日：7日（月）、15（火）、21日（月）、28日（月）

【お問い合わせ】

北海道立文学館（〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4）

電話011-511-7655

ホームページ <http://www.h-bungaku.or.jp>

道立釧路芸術館 10月事業のご案内

▼宇宙象 嶋崎誠展 ガラスの魂が語る【有料】

期 間：9月13日（金）～11月7日（木）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

内 容：北海道東部で活動する現代美術家・嶋崎誠は、古代メソポタミアで発明されたガラスの鑄造技法を独自に発展させ、現代と古代を結ぶ彫刻の制作に挑んでいます。30年の月日をかけて完成させたガラス彫刻19点や、大型の絵画、多数のドローイングを展示し、表現の根底に流れる作家の思考を体感していただきます。

観覧料：一般600円、高大生300円、小中生100円。

このほか、10名以上の団体、親子、リピーター料金があります。

詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

なお、釧路・根室管内在住の高校生以下は、無料です（釧路芸術館ボランティアの会SOA 2019年度招待事業）。

また、障がい者手帳等をお持ちの方も無料で観覧できます。

▼作家によるギャラリートツアー【宇宙象 嶋崎誠展観覧券が必要】

日 時：10月14日（月・祝）・22日（火・祝） 14：00～（約30分）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

ご案内：嶋崎誠 氏

※申し込みは不要です。

▼アートギャラリー北海道 北海道遺産選定記念 鶴居村簡易軌道資料展示【無料】

期 間：9月13日（金）～10月6日（日）

会 場：道立釧路芸術館 フリーアートルーム

内 容：昭和初期から約40年間、鶴居村と釧路を結び物流を支えた簡易軌道。2018年に「北海道の簡易軌道」が北海道遺産に選定されたことを記念して、鶴居村の簡易軌道の関連資料を展示します。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00

10月の休館日：7日（月）・15日（火）・21日（月）・28日（月）。

【お問い合わせ】

北海道立釧路芸術館（〒085-0017 釧路市幸町4-1-5）

電話：0154-23-2381 ホームページ：<http://www.kushiro-artmu.jp>

道立埋蔵文化財センター10月事業のご案内

▼常設展示「掘り出された北の歴史」展【無料】

期 間：4月1日（土）～3月31日（土）

場 所：道立埋蔵文化財センター 展示室

内 容：展示室では北海道の遺跡や出土遺物について紹介しています。素材の特性を生かしながら、どのように手を加え、利用してきたのか、さまざまな道具の中に北海道の大地に生きた先人の知恵と工夫の跡をご覧ください。

▼考古学講座「アートな考古学を知る・学ぶ4 縄文人に挑戦」【無料】

日 時：10月26日（土）13:30～15:30

場 所：道立埋蔵文化財センター 研修室

定 員：20名

内 容：「土偶」は縄文人の精神世界を探る道しるべ。縄文人の心と技にどこまで迫れるか、越えられるか。縄文人が作った土偶を見本にマイ土偶作りに、レッツチャレンジ。

講 師：坂本 尚史（北海道立埋蔵文化財センター普及活用課主査）

○お知らせ

開館時間：9:30～16:30

10月の休館日：7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（火）

【お問い合わせ】

北海道立埋蔵文化財センター（〒069-0832 江別市西野幌685-1）

電話011-386-3231

ホームページ <http://www.domaibun.or.jp/>